

「オルタナティブな社会をめざして～北タイのローカルな知」

ESD 指導者養成事業・講演会

立教大学 ESD 研究センターでは、NPO 法人開発教育協会（DEAR）の協力のもと、アジア地域における ESD 指導者養成事業に取り組んできました。本講演会では、タイ側のパートナーである ISDEP（持続可能開発促進研究所）とランナー文化を学ぶ会関係者を招聘し、北タイにおける NGO の農村開発・参加型開発の経験から「オルタナティブな社会」を語っていただくとともに、ISDEP による開発教育教材（DEAR 制作）を活用した参加型開発・参加型学習の実践事例を報告していただきます。

日 時	2010 年 7 月 10 日（土）13 時半～17 時
会 場	立教大学池袋キャンパス 5 号館 5302 教室（定員 70 名）
プログラム	
（受付開始 13:00）	
13:30～14:00	挨拶 田中治彦
14:00～15:00	講演「オルタナティブな社会をめざして～北タイのローカルな知」 チャチャワン・トンディール（ランナー文化を学ぶ会代表）
15:00～15:20	質疑応答
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	実践報告「参加型開発・参加型学習の実践事例～北タイの NGO の取り組み」 ブラヤット・チャトゥボンピタックン（ISDEP 事務局長）他
16:30～16:50	質疑応答
17:00	終了

司会：田中治彦（上智大学、立教大学 ESD 研究センター）

通訳：押山正紀（恵泉女学園大学）

参加費無料・要予約・先着順

北タイの NGO の取り組みの中から生まれたローカルな知の活用は、外からの知識をもとにした開発ではなく、コミュニティに蓄積されている生活の知恵や問題解決の経験から学んだ知を、ローカルな知と位置づけ、それらをもとにした開発こそがコミュニティ再生の道であるという信念のもとに行われている。

ローカルな知をオルタナティブな開発を担う知として位置づけ、北タイのランナー文化などの復興、継承をめざす NGO の代表であるチャチャワン氏から、オルタナティブな社会をめぐる構想について聞く。

申込み：立教大学 ESD 研究センター

メールかファックスで下記までお申込み下さい。

〒171-8501 豊島区西池袋 3-34-1・TEL & FAX：03-3985-2686 / esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

交通アクセス：<http://www.rikkyo.ac.jp/access/>

ESD 研究センター <http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/index.html>

開発教育協会 <http://www.dear.or.jp/>

主催：立教大学 ESD 研究センター / NPO 法人 開発教育協会